



## 平成23年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年5月11日

上場会社名 株式会社アエリア 上場取引所 大  
 コード番号 3758 URL <http://www.aeria.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小林 祐介  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 管理本部長 (氏名)清水 明 TEL 03-3587-9574  
 四半期報告書提出予定日 平成23年5月13日 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成23年12月期第1四半期の連結業績(平成23年1月1日～平成23年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第1四半期	1,824	20.8	85	-	94	-	41	-
22年12月期第1四半期	1,509	1.9	52	-	42	-	52	-

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年12月期第1四半期	730	74	-	-
22年12月期第1四半期	892	18	-	-

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
23年12月期第1四半期	7,746		6,121		75.6	102,614	01	
22年12月期	7,848		6,297		77.0	105,821	68	

(参考) 自己資本 23年12月期第1四半期 5,859百万円 22年12月期 6,043百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円	銭	円	銭	円	銭	
22年12月期	-	-	-	2,200	00	2,200	00
23年12月期	-	-	-	-	-	-	-
23年12月期(予想)	-	-	-	-	-	-	-

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

## 3. 平成23年12月期の連結業績予想(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期 (累計)	3,400	15.1	250	-	280	-	120	-	2,065	19
通期	7,500	17.9	560	747.1	620	-	260	-	4,474	58

(注) 連結業績予想数値の当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は【添付資料】P. 4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

新規 - 社 ( )

除外 - 社 ( )

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 : 有

以外の変更 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年12月期 1 Q	67,902株	22年12月期	67,902株
23年12月期 1 Q	10,796株	22年12月期	10,796株
23年12月期 1 Q	57,106株	22年12月期 1 Q	58,963株

期末自己株式数

期中平均株式数（四半期累計）

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

当社では、個人投資家向けの皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催していません。開催の予定等については、当社ホームページをご確認ください。

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間(平成23年1月1日~平成23年3月31日)におけるわが国経済は、海外経済の改善や各種の政策効果などを背景に個人消費・設備投資の回復により景気が持ち直していくことが期待されますが、東日本大震災の影響により、電力供給の制約やサプライチェーン立て直しの遅れ、原油価格の上昇の影響、またデフレの影響、雇用情勢の悪化懸念が依然として残っております。

このような状況の中、当社グループを取り巻く環境は、インターネットの普及拡大並びにスマートフォンの急速な普及により、オンラインゲームをはじめとしたエンターテインメントコンテンツ市場の拡大が見込まれます。

このような環境のもと、当社グループの当第1四半期連結会計期間の業績につきましては、売上高1,824,345千円(前年同期比20.8%増)、営業利益85,085千円(前年同期は営業損失52,491千円)、経常利益94,715千円(前年同期は経常損失42,553千円)、四半期純損失に関しましては、41,729千円(前年同期は四半期純損失52,605千円)となりました。

売上高につきましては、当社及びAeria Games & Entertainment, Inc.においてオンラインゲームの配信事業が順調に拡大を続け、前年同期に比べ314,508千円増加し、1,824,345千円となりました。

四半期純損失につきましては、主に、一部持分法適用関連会社において、持分法による投資損失76,610千円を計上し、また当初予定していた収益を見込めなくなった一部タイトルの減損損失106,656千円を計上したことによるものであります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

#### (オンラインゲーム事業)

オンラインゲーム事業につきましては、当社及び連結子会社でありますAeria Games & Entertainment, Inc.を中心に国内・海外でオンラインゲームの配信を行っており、平成23年3月には累計登録会員数が1,800万人を突破するなど、順調な成長を続けております。

以上の結果、売上高は1,220,002千円、営業利益は20,248千円となりました。

#### (ゲーム開発事業)

ゲーム開発事業につきましては、株式会社アクワイアの自社開発コンテンツの売上が拡大し、またオプティモグラフィコ株式会社の受託開発案件が順調に伸びております。

以上の結果、売上高は309,497千円、営業利益は29,967千円となりました。

#### (ITサービス事業)

ITサービス事業につきましては、インターネットの普及に伴いデータサービス事業を行う株式会社エアネット並びにネットワークエンジニアの派遣を行う株式会社スリーエスが共に安定した収益を獲得しております。

以上の結果、売上高は309,195千円、営業利益は28,461千円となりました。

#### (不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業につきましては、株式会社アエリアエステートにおいて、安定した売上・営業利益を計上しております。

その他の子会社については特筆すべき事項はございません。

以上の結果、売上高は15,769千円、営業利益は8,966千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

財務状態

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、7,746,788千円で、前連結会計年度末に比べ101,434千円減少いたしました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ105,910千円減少し、3,713,409千円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べ4,476千円増加し、4,033,378千円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ74,645千円増加し、1,154,414千円となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べ238千円減少し、470,628千円となりました。

純資産につきましては、配当に伴う資本剰余金の減少等に伴い、175,841千円減少し、6,121,746千円となりました。

キャッシュ・フローの状況の分析

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ96,242千円減少し、2,405,055千円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は291,968千円（前年同期は250,336千円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失を計上したものの減損損失、減価償却費及び持分法による投資損失の計上や仕入債務の増加があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は259,758千円（前年同期は630,840千円の減少）となりました。これは主に、ソフトウェアの取得による支出があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は131,457千円（前年同期は399,612千円の減少）となりました。これは主に配当金の支払があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く環境は、インフラやウェブサービス面の充実により、インターネット利用者が更に増加していくことなどを背景に、今後も引き続き拡大傾向が続くものと予想されます。

オンラインゲーム事業におきましては、当社において日本国内でのオンラインゲームの配信を行っており、順調に登録会員数が増加しております。今後についても、複数のオンラインゲームタイトルの投入を予定しております。また、海外子会社でありますAeria Games & Entertainment, Inc. 及びAeria Games Europe GmbHを通じ、北米・欧州、更には南米をはじめとするオンラインビジネスが成長豊かな国々において、オンラインゲームを中心とするエンターテインメントビジネスの展開を強化してまいります。

当社グループではオンラインゲーム事業をコア事業と位置づけ、様々なエンターテインメントコンテンツの提供を積極的に展開してまいります。

また当社子会社であります株式会社アクワイア及びオプティモグラフィコ株式会社によるゲーム開発事業並びに株式会社エアネット及び株式会社スリーエスのITサービス事業、不動産賃貸事業の株式会社アエリアエステートにおいても引き続き顧客拡大を目標としてまいります。

以上により、当期の連結売上は7,500,000千円（前年同期比17.9%増）、営業利益560,000千円、経常利益620,000千円、当期純利益260,000千円となる見通しです。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### (簡便な会計処理)

##### 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産の減価償却費の算定方法については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

##### 連結会社相互間の債権債務及び取引の相殺消去

連結会社相互間の債権の額と債務の額に差異が見られる場合には、合理的な範囲内で当該調整を行わないで債権と債務を相殺消去しております。

取引金額に差異がある場合で当該差異の重要性が乏しいときには、親会社の金額に合わせる方法により相殺消去しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより営業利益及び経常利益がそれぞれ1,406千円減少し、税金等調整前四半期純損失が7,614千円増加しております。

#### 「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用しております。

これによる当第1四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

#### 表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目を表示しております。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,454,514	2,544,556
受取手形及び売掛金	499,846	510,330
商品	1,396	1,422
仕掛品	16,066	42,687
1年内回収予定の長期貸付金	705	2,080
繰延税金資産	2,669	875
その他	742,806	722,319
貸倒引当金	4,595	4,950
流動資産合計	3,713,409	3,819,320
固定資産		
有形固定資産	1,051,374	1,046,284
無形固定資産	787,254	738,976
投資その他の資産		
投資有価証券	208,693	203,525
関係会社株式	527,283	609,921
長期貸付金	1,434,121	1,415,099
繰延税金資産	5,126	4,661
その他	227,315	218,089
貸倒引当金	207,791	207,655
投資その他の資産合計	2,194,750	2,243,641
固定資産合計	4,033,378	4,028,902
資産合計	7,746,788	7,848,223
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	153,287	129,204
1年内返済予定の長期借入金	104,592	111,628
1年内償還予定の社債	14,300	14,300
未払費用	284,234	231,153
未払法人税等	25,777	17,725
賞与引当金	16,090	6,653
その他	556,131	569,102
流動負債合計	1,154,414	1,079,768
固定負債		
社債	21,400	28,550
長期借入金	260,347	251,985
繰延税金負債	42,166	42,173
退職給付引当金	10,042	9,189
負ののれん	79,040	88,060
その他	57,631	50,908
固定負債合計	470,628	470,866
負債合計	1,625,042	1,550,635

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	236,457	236,457
資本剰余金	6,598,021	6,723,654
利益剰余金	74,716	116,445
自己株式	1,035,442	1,035,442
株主資本合計	5,873,751	6,041,114
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	60,421	68,403
為替換算調整勘定	74,297	66,465
評価・換算差額等合計	13,875	1,938
新株予約権	75,100	75,100
少数株主持分	186,769	179,434
純資産合計	6,121,746	6,297,587
負債純資産合計	7,746,788	7,848,223



(2) 四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)
売上高	1,509,836	1,824,345
売上原価	898,491	1,033,574
売上総利益	611,344	790,770
販売費及び一般管理費	1,663,836	1,705,685
営業利益又は営業損失( )	52,491	85,085
営業外収益		
受取利息	18,537	5,201
負ののれん償却額	9,020	9,020
為替差益	2,556	53,630
その他	18,233	24,042
営業外収益合計	48,348	91,894
営業外費用		
支払利息	8,580	3,036
持分法による投資損失	28,158	79,098
その他	1,671	129
営業外費用合計	38,410	82,264
経常利益又は経常損失( )	42,553	94,715
特別利益		
固定資産売却益	121	-
投資有価証券売却益	9,317	-
関係会社株式売却益	2,214	-
持分変動利益	-	2,726
その他	264	20
特別利益合計	11,918	2,747
特別損失		
固定資産除却損	2,464	1,129
投資有価証券評価損	22,267	-
減損損失	22,734	106,656
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	6,207
特別損失合計	47,466	113,993
税金等調整前四半期純損失( )	78,101	16,530
法人税、住民税及び事業税	4,860	20,133
法人税等調整額	2,775	2,259
法人税等合計	2,085	17,874
少数株主損益調整前四半期純損失( )	-	34,404
少数株主利益又は少数株主損失( )	27,580	7,325
四半期純損失( )	52,605	41,729

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失( )	78,101	16,530
減価償却費	73,680	76,421
減損損失	22,734	106,656
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	6,207
長期前払費用償却額	12,071	13,511
のれん償却額	262	8,046
持分法による投資損益( は益)	28,158	79,098
貸倒引当金の増減額( は減少)	4,813	219
受取利息及び受取配当金	18,537	5,201
支払利息	8,580	3,036
持分変動損益( は益)	-	2,726
為替差損益( は益)	2,720	20,147
固定資産売却損益( は益)	121	-
固定資産除却損	2,464	1,129
投資有価証券売却損益( は益)	9,317	-
投資有価証券評価損益( は益)	22,267	-
関係会社株式売却損益( は益)	2,214	-
売上債権の増減額( は増加)	93,342	10,483
たな卸資産の増減額( は増加)	166	26,647
仕入債務の増減額( は減少)	43,974	24,082
その他	70,428	13,226
小計	271,406	307,629
利息及び配当金の受取額	1,925	-
利息の支払額	10,027	3,036
法人税等の支払額	12,968	12,624
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>250,336</b>	<b>291,968</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	7,800	8,200
有形固定資産の取得による支出	22,919	24,001
有形固定資産の売却による収入	172	-
無形固定資産の取得による支出	161,056	209,004
投資有価証券の売却による収入	9,999	-
関係会社株式の取得による支出	27,181	-
関係会社株式の売却による収入	6,000	-
長期前払費用の取得による支出	19,561	21,052
貸付けによる支出	664,000	-
貸付金の回収による収入	255,505	2,500
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>630,840</b>	<b>259,758</b>

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	50,000	80,000
長期借入金の返済による支出	175,389	78,674
社債償還による支出	109,000	7,150
自己株式の取得による支出	35,263	-
配当金の支払額	129,960	125,633
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>399,612</b>	<b>131,457</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	997	3,005
<b>現金及び現金同等物の増減額(は減少)</b>	<b>779,119</b>	<b>96,242</b>
現金及び現金同等物の期首残高	7,196,614	2,501,297
<b>連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額</b>	<b>4,072,101</b>	<b>-</b>
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 2,345,394	1 2,405,055

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)

	エンター テイメント事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,373,402	136,434	1,509,836	-	1,509,836
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	900	4,405	5,305	(5,305)	
計	1,374,302	140,839	1,515,142	(5,305)	1,509,836
営業損失( )	18,892	14,106	4,785	(47,705)	52,491

- (注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。  
2 事業区分の各区分に属する主要なサービスの名称  
エンターテイメント事業・・・オンラインゲームを中心とするコンテンツ配信事業、ゲームソフト  
開発事業、システム開発事業、データセンター事業  
その他事業・・・人材派遣事業、不動産投資・賃貸事業  
3 事業区分の名称については、「エンターテイメント/ソリューション事業」は「エンターテイメント事  
業」に、「ファイナンス事業」は「その他事業」に、それぞれ変更しております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	787,448	577,911	144,476	1,509,836	-	1,509,836
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	146,746	-	146,746	(146,746)	-
計	787,448	724,658	144,476	1,656,583	(146,746)	1,509,836
営業利益又は営業損失( )	64,385	146,457	134,564	52,491	-	52,491

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。  
2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域  
北米・・・アメリカ合衆国、カナダ  
その他・・・ドイツ、その他

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)

	北米	その他	計
海外売上高(千円)	577,911	144,476	722,388
連結売上高(千円)	-	-	1,509,836
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	38.3	9.6	47.8

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。  
2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域  
北米・・・アメリカ合衆国、カナダ  
その他・・・ドイツ、その他  
3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、商品・サービス別に子会社があり、当社及び各子会社は、サービスの向上と売上及び利益の拡大を目指し、国内外で事業活動を展開しております。

したがって当社は、当社及び各子会社を基礎とした商品・サービス別のセグメントから構成されており、「オンラインゲーム事業」「ゲーム開発事業」「ITサービス事業」「不動産賃貸事業」の4つを報告セグメントとしております。

なお、各セグメントに属する商品及びサービスの内容は以下のとおりであります。

報告セグメント	属する商品及びサービスの内容
オンラインゲーム事業	オンラインゲームの配信・運営等
ゲーム開発事業	コンシューマゲームの企画・開発・販売等 CGの制作等
ITサービス事業	データサービス事業、SIサービス等 ネットワークエンジニアの派遣等
不動産賃貸事業	不動産の賃貸等

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年3月31日)

	報告セグメント				合計 (千円)	調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
	オンライン ゲーム (千円)	ゲーム開発 (千円)	ITサービス (千円)	不動産賃貸 (千円)			
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,217,976	309,396	281,202	15,769	1,824,345	-	1,824,345
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,025	101	27,993	-	30,119	(30,119)	-
計	1,220,002	309,497	309,195	15,769	1,854,465	(30,119)	1,824,345
セグメント利益	20,248	29,967	28,461	8,966	87,643	(2,558)	85,085

(注) 1 セグメント利益の「調整額」は、各報告セグメントに配賦していない全社費用の金額であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年3月31日)

(固定資産に係る重要な減損損失)

「オンラインゲーム事業」セグメントにおいて、想定していた収益が見込めないため、一部のソフトウェアについて、その帳簿価額を全額減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当第1四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は、106,656千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
当第1四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)  
該当事項はありません。